

## 新市第1号の 名誉市民

### 議会同意

#### 故 伊藤宏太郎前西条市長



平成27年9月24日の9月定例会最終本会議において、市長から、新市施行後、第1号となる名誉市民推戴の議案が追加提案され、前西条市長 伊藤宏太郎氏（平成27年2月12日逝去）を名誉市民に選定することに同意しました。

同氏は、平成7年から旧西条市長を3期9年、新西条市の初代市長に就任して2期8年、実に5期17年の長きにわたり、市政のかじ取り役を担い、産業や教育、福祉、防災などの各行政分野において、卓越した先見性と行動力で全国に先駆けた数々の施策を展開し、市が標榜する“人がつどい まちが輝く 快適環境実感都市”の実現に尽くされました。

『ふるさと西条』へのいぢぢな思いと、温顔ににじむ情義の厚さは、衆目の認めるところであり、本市の総合6次産業都市の推進に携わった関係者は「西条農業革新都市総合特区指定や地域再生計画の認定は、長年にわたる農林水産業への取組が評価された」とたたえ、また、平成24年5月に災害時における相互応援協定を締結した福島県相馬市の立谷秀清市長からは「縁あって震災復興にありがたいご支援をいただいた。職員派遣や支援物資で相馬市は復興に向かつて進んでいる。交流は現在も受け継がれ、両市の絆が広がっている」との生前の厚情に感謝の言葉が寄せられています。

議会におきましても、全身全霊を傾け、ひたすら公共・公益への貢献一筋に歩まれた伊藤前市長の崇高なご労苦に深い敬意と感謝を表するとともに、偉大なる足跡を末永く顕彰申し上げるものであります。

※議案第98号、名誉市民の選定についての採決結果は、11ページの「議員別議案賛否一覧表」をご参照ください。

### 人がつどい まちが輝く 快適環境実感都市



西条市考古歴史館からの眺望